

航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会

各ワーキンググループとりまとめ概要
(平成30年度)

整備士養成ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■整備士の英語能力向上

- ・これからの時代に適した最新の英語学習法を知り、実践することを目的として、「航空用英語学習講座」を昨年度から引き続き企画し開催。さらに今年度は「航空英語学習講座」を入門編と応用編に再編集したうえで実施するなど、整備士の英語能力の更なる向上に向けた取組を実施。（計3回）
- ・スマートフォン用Webページ「スマホで航空英単語」については、アクセス数の順調な伸びを背景に内容拡充の準備を進めた。 ※アクセス数 約1.5万件（平成31年1月末現在）

■整備管理従事者の養成

- ・昨年度から引き続き、「整備管理従事者講習会（入門編）」（2日間コース）及び整備管理従事者講習会【専門編】と位置づけた「航空機耐空性管理コース（法と運用、MRB,MEL）」（2日コース）を継続して実施。
（入門編×2回、専門編×3回）

■整備士の技量・技能の維持・伝承

- ・昨年までの取組において知見や技法等の共有と蓄積がある程度進んできていたことを受け、JAEAにおいて発表方法や内容の見直しなど次年度以降の開催にむけた検討を実施。

■中長期的な整備士の養成のあり方に関する検討、外国人材の活用等

- ・「国土交通大臣指定航空従事者養成施設連絡協議会」を開催。（平成30年9月）
- ・新たな在留資格「特定技能」による外国人材の活用に係る制度について、航空機整備業務に関しても対象とされたことをうけて、制度の内容や今後の取組についてWG内で情報を共有した

今後の検討課題・取組み等

■整備士の英語能力向上

- ・学校教育機関や航空会社等、関係者の意見を踏まえ必要に応じて見直しの検討を行うとともに、更なる普及を図っていく。

■整備管理従事者の養成

- ・より一層各航空会社の要望に応えられるよう内容の拡充を図っていくとともに、参加者数が増加するような取組について検討を進める。

■整備士の技量・技能の維持・伝承

- ・整備士の技量・技能の維持・伝承発表会を今後も実施し、発表会で共有される知見や手法等を蓄積するとともに整備士の技量・技能の維持伝承に関するPDCAサイクルの実践への取組について検討する。

■中長期的な整備士の資格制度のあり方・養成のあり方、外国人材の活用等

- ・中長期的な養成・確保について各機関での取組状況を共有するとともに必要に応じてWGにおいて議論を行うこととする。

製造技術者ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

1. 技能認定制度の検討

昨年度同様、国内大手製造各社等、業界関係者を集めた「技能認定制度検討分科会」を開催し、機体需要等の最新の業界動向につき、情報共有を図り、民間検定試験の実施に向けて議論を行った。

2. 非破壊検査員の育成に関する検討

「日本航空宇宙非破壊試験委員会」にて、資格試験機関に必要な設備・試験体の検討や試験問題の作成等の資格試験実施に向けた検討を行った。また、Nadcapの動向を注視し、QMSにかかる情報収集や各国の動向把握に努めた。

今後の検討課題・取組み等

■ 技能認定制度の検討

今後の機体需要等の業界動向を踏まえ、受検生確保の目途が立ち、大手製造各社の総意により、国家技能検定化を踏まえた民間検定試験への移行の希望がなされたら「技能認定制度検討分科会」の開催を検討する。

■ 非破壊検査員の育成

来年度中の資格試験の実施及び適格性評価証の発行を目指し、「日本航空宇宙非破壊試験委員会」にて、資格試験機関の体制整備及び各種規定類の作成を進める。また、自立化に向けて、安定的な制度運用に向けた検証を継続する。

裾野拡大ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■ 女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者の増加に向けた取組

- ・現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会を開催。（H30.12）

■ 航空機産業人材確保に関する取り組み

- ・経済産業省（中部経済産業局）において、（独）国立高等専門学校機構及び地域の高等専門学校と連携し、学生を対象に航空宇宙関連企業等からの講師による、航空宇宙先端技術分野に係る特別講義を5回に亘り実施した。同機構のTV会議システムを活用して講義の様子を中継配信し、関心のある全国15高専の学生が参加した。また、ウェブサイト等を通じてインターンシップ受け入れ実施企業の情報を発信した。

■ その他裾野拡大に関する取組

- ・スカイスポーツフェスタ イン埼玉（公益財団法人日本学生航空連盟）
 - －グライダーなどを実際に“乗る、ふれる、飛ぶ”ことができる体験の実施 等
- ・子ども霞ヶ関見学デーへの協力
 - －現役操縦士等によるお仕事紹介、日本航空学園によるフライトシュミレーター体験 等
- ・各航空会社における取り組み（航空教室の実施、工場見学等）

今後の検討課題・取組み等

- 「子ども霞ヶ関見学デー」等、これまで実施してきた各種裾野拡大の取り組みは、可能な限り次年度においても継続して計画・実行する。
- 航空機産業人材確保については、これまで高専生に対して専門技術者による講義等を実施し一定の成果が出たことから、引き続き、こうした学生向け取組みを検討していく。